

# 屋内運動場建設で スポーツアイランドを

答 財源確保など検討が必要のため  
事業化は厳しい



知念 富信 議員

**問** 屋内運動場を一括交付金で建設できないか。

**副町長** 一括交付金は、沖縄振興に資する事業が対象である。補助事業で実施できない事業の交付金活用は可能ではある。しかし、必要性や費用対効果、一般財源の確保など検討が必要のため事業化は厳しい。

**問** 一括交付金の配分別保留金の活用状況はどうか

**副町長** 特別枠は30億円を枠として、市町村6億円を上限との基準がある。平成25年度に10市町村の13事業で24億8千万円、平成26年度に15市町村の17事業で31億2千万円が採択されている。

## LED保安灯の設置を

**問** 国場川の管理道路に保安、憩いの場としてLED保安灯の設置ができないか。

**経済建設部長** コミュニティ施設の一環として、県へ管理道路の整備を要請していく。



国場川の管理道路

**問** 一括交付金を活用して町内自治会の防犯灯を順次、LED防犯灯に変更できないか。

**経済建設部長** 各自治会の防犯灯は古い。製造もなく在庫のみの状態である。一括

交付金を活用してLED化を進めたい。前例の確認をし、交付が可能ならば、平成27年度から実施していきたい。

## 小中学校の教室にクーラー設置を

**問** 小中学校の普通教室にクーラー設置の補助事業はあるか。

**教育長** 普通教室のクーラー設置は、文部科学省の補助事業がある。新增築事業には85%補助、大規模改造事業には3分の1の補助がある。

**問** 町は普通教室へのクーラー設置を計画しているか。

**教育長** 特に暑い教室が各学校に4教室あるとの報告がある。風通しの悪い教室はクーラーの設置を計画している。